

2023 年度名古屋市予算案に対する組み替え案

日本共産党名古屋市議団

1. 組み替えを求める理由

河村市長が提案した 2023 年度予算案は、コロナ禍に加えて物価高騰が暮らしと経営を直撃するなか、国民健康保険料の値上げでさらなる負担を市民に強いるとともに、公立保育所の民間移管や小学校給食調理の民間委託の拡大など、金持ち優遇減税をテコに市の直営事業を縮小する内容となっています。

その一方で市は、名古屋城天守閣木造復元や中部国際空港二本目滑走路、笹島地下通路、都市高速道路など不要不急の大型事業を押し進めるとともに、市長自ら「水余り」を認め反対してきた木曾川水系連絡導水路事業を一転「容認」し、揖斐川の水を名古屋に引くための市独自の導水路事業も構想しています。

今、市政に求められているのは、市民の暮らしと経営を応援する、地方自治体本来の仕事に全力で取り組むことです。

以上の理由から、一般会計予算の組み替えを要求します。

2. 組み替えの基本方針

以下の基本方針で予算の組み替えを行います。

- ① 物価高騰から市民の暮らしと営業を守ります。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策を拡充します。
- ③ 金持ち優遇の市民税減税を中止し、その財源確保のために行われる公的事業の縮小を中止します。
- ④ 新たな税金の浪費につながる大型開発事業は中止します。
- ⑤ 市民税減税の中止や大型開発事業の見直しなどで確保した財源を活用し、市民の暮らしと経営を応援する事業や地球温暖化対策の促進を図ります。

3. 組み替えの具体的内容

- ① 金持ち優遇の市民税減税を中止するとともに、市民負担の拡大、公的事業の縮小を中止します。
 - (ア) 市民税減税
 - (イ) 国民健康保険料の賦課率引き上げ
 - (ウ) 公立保育所の民間移管及び統廃合
 - (エ) 小学校給食調理の民間委託
- ② 新たな税金の浪費につながる大型開発事業、市民生活に不要不急な事業は中止します。
 - (ア) 中部国際空港関連（同空港二本目滑走路建設促進期成同盟会への負担金支出、中部国際空港株式会社への整備費貸付金）

- (イ) 木曽川水系連絡導水路事業に係る工業用水道事業会計への出資
- (ウ) 名古屋城天守閣木造復元関連（名古屋城天守閣会計への財源貸付、金シヤチ横丁第二期整備における博物館基本計画の策定）
- (エ) ささしまライブ 24 地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進
- (オ) 水源施設建設出資金（揖斐川分）
- (カ) 名古屋高速道路公社への出資金・建設資金貸付金（黄金 IC 拡張等）
- (キ) 高級ホテル立地促進事業
- (ク) 国民保護業務

③ 市民税減税や大型開発事業の中止などで確保した財源を活用し、市民負担の軽減、新型コロナウイルス感染症対策や災害対策事業の拡充、地域経済の活性化と地球温暖化対策のための事業の創設を図ります。

- (ア) 小学校給食費の無償化
- (イ) 国民健康保険料の均等割額の引き下げ率の拡大及び 18 歳以下の均等割の廃止
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症対策の拡充
- (エ) 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設
- (オ) 住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進事業の創設
- (カ) 住宅及び小規模事業所建物等のエコリフォーム補助制度の創設
- (キ) 奨学金返還支援制度の創設
- (ク) 高等学校給付型奨学金の対象を非課税全世帯に拡大
- (ケ) 私立高等学校授業料補助の対象を全世帯対象に拡大
- (コ) 災害対策事業基金への財源繰り出し

④ その他

- (ア) 議員団派遣（海外）の中止

以上